

協議会の今後の予定等について

平成26年度～平成27年度

平成26年9月27日

御嶽山噴火（死亡58名、行方不明者5名）

平成27年3月

御嶽山の噴火を踏まえ、火山噴火予知連絡会（事務局：気象庁）の火山観測体制等に関する検討会が弥陀ヶ原を「常時観測火山」として追加する報告をとりまとめ

平成27年12月

国（内閣府）による「活動火山対策の推進に関する基本指針」の策定、火山災害警戒地域の指定などを盛り込んだ**活動火山対策特別措置法**（以下「活火山法」という。）の**改正**

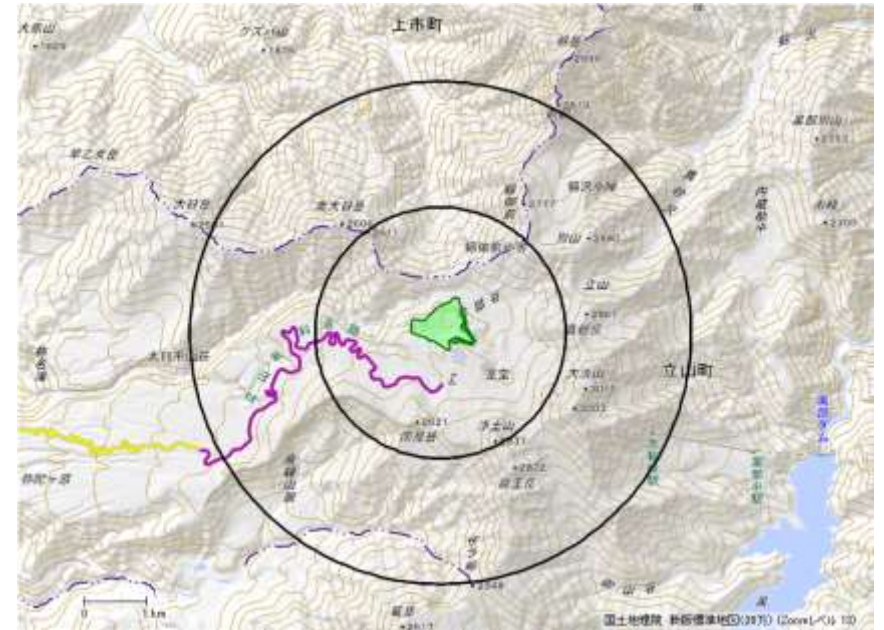
平成28年2月

国（内閣府）が**富山県・富山市・立山町・上市町**を「**火山災害警戒地域**」に指定

※ 当時はハザードマップが未作成であったため、想定火口から半径4kmが基準となった。

平成28年3月

活火山法第4条により、**弥陀ヶ原火山防災協議会**（以下「協議会」という。）の設置



火口から半径4 kmの図

平成28年度～平成30年度

平成28年12月

気象庁において各種火山観測機器を整備し、弥陀ヶ原を「**常時観測火山**」に追加

平成30年1月

協議会において「**噴火シナリオ**」の協議、公表（火山現象等の影響範囲の推移を時系列で整理）

平成30年8月

協議会において「**火山ハザードマップ**」の協議、公表
（大きな噴石の飛散する範囲は地獄谷から2.5kmの範囲内と想定）

平成30年8月

雷鳥荘において屋根の補強工事を実施

平成31年3月

協議会において「**噴火警戒レベル**」の協議、公表



警戒レベル	火山の状況	火山の状況	警戒される地域
5	噴石の飛散範囲が拡大し、火山口から約2.5km以内と想定される。	噴石の飛散範囲が拡大し、火山口から約2.5km以内と想定される。	●噴石の飛散範囲が拡大し、火山口から約2.5km以内と想定される。●噴石の飛散範囲が拡大し、火山口から約2.5km以内と想定される。
4	噴石の飛散範囲が拡大し、火山口から約2.5km以内と想定される。	噴石の飛散範囲が拡大し、火山口から約2.5km以内と想定される。	●噴石の飛散範囲が拡大し、火山口から約2.5km以内と想定される。●噴石の飛散範囲が拡大し、火山口から約2.5km以内と想定される。
3	噴石の飛散範囲が拡大し、火山口から約2.5km以内と想定される。	噴石の飛散範囲が拡大し、火山口から約2.5km以内と想定される。	●噴石の飛散範囲が拡大し、火山口から約2.5km以内と想定される。●噴石の飛散範囲が拡大し、火山口から約2.5km以内と想定される。
2	噴石の飛散範囲が拡大し、火山口から約2.5km以内と想定される。	噴石の飛散範囲が拡大し、火山口から約2.5km以内と想定される。	●噴石の飛散範囲が拡大し、火山口から約2.5km以内と想定される。●噴石の飛散範囲が拡大し、火山口から約2.5km以内と想定される。
1	噴石の飛散範囲が拡大し、火山口から約2.5km以内と想定される。	噴石の飛散範囲が拡大し、火山口から約2.5km以内と想定される。	●噴石の飛散範囲が拡大し、火山口から約2.5km以内と想定される。●噴石の飛散範囲が拡大し、火山口から約2.5km以内と想定される。

令和元年度

令和元年 5月

「噴火警戒レベル」の運用開始

(噴火時等の危険範囲や防災対応を5段階に区分(気象庁発表))

令和元年 6月、9月

関係機関により現地確認訓練を実施

(火山防災マップ作成のための避難ルートの検討等)

令和元年 10月

立山室堂山荘において屋根の補強工事を実施

令和2年 3月

協議会において「弥陀ヶ原火山避難計画」を策定

レベル	噴火警戒レベル	火山活動の状況	住民の行動指針	実施される措置
5	5 (大規模な噴火)	噴火地域に大規模な噴火が予想され、噴火の危険性が極めて高いと見られる。	噴火地域に大規模な噴火が予想され、噴火の危険性が極めて高いと見られる。	●噴火地域に大規模な噴火が予想され、噴火の危険性が極めて高いと見られる。 ●噴火地域に大規模な噴火が予想され、噴火の危険性が極めて高いと見られる。
4	4 (大規模な噴火)	噴火地域に大規模な噴火が予想され、噴火の危険性が極めて高いと見られる。	噴火地域に大規模な噴火が予想され、噴火の危険性が極めて高いと見られる。	●噴火地域に大規模な噴火が予想され、噴火の危険性が極めて高いと見られる。 ●噴火地域に大規模な噴火が予想され、噴火の危険性が極めて高いと見られる。
3	3 (大規模な噴火)	噴火地域に大規模な噴火が予想され、噴火の危険性が極めて高いと見られる。	噴火地域に大規模な噴火が予想され、噴火の危険性が極めて高いと見られる。	●噴火地域に大規模な噴火が予想され、噴火の危険性が極めて高いと見られる。 ●噴火地域に大規模な噴火が予想され、噴火の危険性が極めて高いと見られる。
2	2 (大規模な噴火)	噴火地域に大規模な噴火が予想され、噴火の危険性が極めて高いと見られる。	噴火地域に大規模な噴火が予想され、噴火の危険性が極めて高いと見られる。	●噴火地域に大規模な噴火が予想され、噴火の危険性が極めて高いと見られる。 ●噴火地域に大規模な噴火が予想され、噴火の危険性が極めて高いと見られる。
1	1 (大規模な噴火)	噴火地域に大規模な噴火が予想され、噴火の危険性が極めて高いと見られる。	噴火地域に大規模な噴火が予想され、噴火の危険性が極めて高いと見られる。	●噴火地域に大規模な噴火が予想され、噴火の危険性が極めて高いと見られる。 ●噴火地域に大規模な噴火が予想され、噴火の危険性が極めて高いと見られる。



令和2年度～令和3年度（前回協議会（R2.3.27）以降）

令和2年5月

立山町において活火山法第7条に基づき「**火山防災マップ**」を作成・配布



令和2年10月

関係機関により**現地確認訓練**を実施（登山道上のヘリ降着場所の検討等）

令和3年1月

噴火警戒レベル2への引上げを想定した**図上訓練**（※大雪により中止）

令和3年6月

ロッジ立山連峰において屋根の補強工事を実施

令和3年7月

関係機関により**現地確認訓練**を実施（噴火警戒レベル2への引上げ時の観光客・登山者等の避難誘導及び負傷者の救助に関するポイントの確認等）



令和3年9月

室堂周辺にて、噴火警戒レベル2への引上げを想定し、観光客・登山者等の避難誘導手順や、傷病者の搬送方法を確認する**実動訓練**を実施

弥陀ヶ原火山防災協議会等の今後の予定等について

区分	令和4年3月	令和4年度	令和5年度以降
火山防災協議会	(2/9幹事会) 3/28協議会	必要に応じてWG開催 弥陀ヶ原火山噴火緊急減災対策砂防計画策定を受けた融雪型火山泥流に対する対応検討	必要に応じて協議会開催
火山防災訓練		現地確認訓練 噴火警戒レベル2～3を想定した図上訓練	噴火警戒レベル2～3を想定した実動訓練
避難促進施設		山小屋における屋根補強工事（予定） 避難確保計画の作成	
火山観測・研究	-----	県委託研究『弥陀ヶ原火山地獄谷での長期モニタリング（富山大学）	→
火山防災の意識啓発等	-----	チラシ等配布 立山カルデラ砂防博物館、富山大学によるセミナー等の開催	→
	-----	火山情報提供のための屋外Wi-Fi整備	→

